

(3) 今後に向けて

《民生委員・児童委員》

[民生委員・児童委員活動に関して]

- 今後委員自身が力を入れたい活動としては、共通して「災害時に備えての救援活動のネットワークづくり」、「安全・安心のまちづくりに向けた取り組み」等広くまちづくりに向けた活動と、「高齢者や障害者、児童などに関する個別援助活動」の双方が上位にあげられた。
- さらに、自身の活動を充実させるために必要なこととしても、新任・中堅・会長共通に「自分自身の資質向上」と「地域の自治会・町内会との連携強化」が上位にあげられている。研修のニーズでは、新任・中堅・会長ともに、民児協内や地域の関係機関等との事例を用いた具体的実践的な研修が上位にあげられた。

[単位民児協の活動・組織運営に関して]

- 単位民児協として今後、力を入れるべきことについての委員の認識は、新任・中堅・会長ほぼ一致している。活動面では、「地域の安全・安心に関わる活動」と「住民組織等との連携による地域福祉活動の推進」が上位にあげられている。
- 組織運営面で力を入れるべきこととしては、「単位民児協内での委員同士の協力体制の強化」のほか、「委員の経験やニーズに応じた研修や研鑽機会の充実」、「関係機関や福祉協力員などとの役割分担の明確化と連携の推進」が上位にあげられた。

《主任児童委員》

[主任児童委員活動に関して]

- 今後、自身が力を入れたい活動としては、約7割が「関係機関との連携・協働活動」を進めたい意向を持っている。活動を充実させるために必要なことでは、「自分自身の資質向上」と、「仕事や生活との両立」、「活動の範囲や役割の明確化」も上位にあげられた。研修のニーズでは、学校などの地域の関係機関等との事例を用いた具体的実践的な研修を7割以上があげている。

[単位民児協の活動・組織運営に関して]

- 単位民児協として今後、力を入れるべきことについては、活動面では「住民組織等との連携による地域福祉活動の推進」が最も多く、「子育てサロンなど、地域の自主活動の開発・実践」を重視している委員も多い。
- 組織運営面については、民生委員・児童委員とほぼ同様の傾向にあるが、定例会や会長に対しては、児童福祉や主任児童委員に関する議題を増やし、主任児童委員の役割を理解するための取り組みを促進するよう期待している。

1) 今後、自身が力を入れたい活動

① 今後、自身が力を入れたい活動（対象：新任・中堅・会長）

〔複数回答・5つまで〕

今後、自身が民生委員・児童委員活動として力を入れたいことは、新任・中堅・会長ともに「災害時に備えての救援活動のネットワークづくり」、「高齢者や障害者、児童などに関する個別援助活動の強化」が過半数～7割と最も高い。

次いで、「安全・安心のまちづくりに向けた取り組み」、「ふれあい・いきいきサロンなどの地域活動の活性化」が4割前後と高く、そのほかの活動も2割～3割と関心が高い傾向がうかがえる。（図表 2-1-31）

図表 2-1-31 今後、自身が力を入れたい活動 《新任・中堅・会長》

	新任		中堅		会長	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
災害時に備えての救援活動のネットワークづくり	51.3	2	62.3	1	72.1	1
高齢者や障害者、児童などに関する個別援助活動の強化	59.2	1	60.2	2	65.1	2
安全・安心のまちづくりに向けた取り組み	41.2	3	43.4	4	45.5	3
ふれあい・いきいきサロンなどの地域活動の活性化	33.9	4	44.4	3	38.8	4
地域住民の意向を行政に意見具申する機能の強化	23.4		25.2		29.6	5
地域の支援ニーズの発見機能の強化	29.8	5	28.2	5	29.0	
課題解決に向けた社会資源（相談機関、団体、施設、学校など）との協働の推進	19.7		22.1		29.0	
福祉のまちづくりに向けた取り組み	19.4		21.7		27.9	
在宅支援をすすめるネットワークづくり	14.7		18.5		27.4	
子育て環境・児童健全育成環境の整備	23.6		26.4		26.8	
行政の協力者としての活動の強化	22.2		22.7		23.6	
権利擁護制度（成年後見制度・日常生活自立支援事業）のPR	4.7		8.9		11.3	
その他	0.9		1.2		0.8	
無回答	2.1		0.6		0.6	
回答者数	573		507		631	

② より重要になると思う個別援助活動分野（対象：新任・中堅・会長）

〔複数回答・3つまで〕

（対象：「①今後、自身が力を入れたい活動」で「高齢者や障害者、児童などに関する個別援助活動の強化」を選択した回答者のみ）

前問①であげた個別援助活動のなかで、より重要になる具体的な活動内容としては、「認知症や寝たきり高齢者支援、介護家族の支援」、「孤立・孤独・自殺防止活動」、「介護予防活動」が共通して上位にあげられた。

次いで「育児相談・子育て支援」、「低所得世帯への自立支援」とともに、今日的な課題である「消費者トラブルによる被害防止活動」も2割前後があげている。（図表2-1-32）

図表 2-1-32 重要になると思う個別援助活動 《新任・中堅・会長》

	新任		中堅		会長	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
認知症や寝たきり高齢者支援、介護家族の支援	64.3	1	61.3	1	58.4	1
孤立・孤独・自殺防止活動	53.1	2	42.6	2	51.3	2
介護予防活動	35.4	3	42.0	3	37.7	3
高齢者・障害者などの消費者トラブルによる被害防止活動	17.4	4	20.3	5	24.3	4
育児相談・子育て支援	15.6		21.0	4	20.9	5
経済的困窮者・低所得世帯の自立支援	14.2		19.3		19.0	
成年後見制度・日常生活自立支援事業の利用支援	13.0		12.5		15.6	
不登校・引きこもりに関わる取り組み	10.6		14.8		12.9	
障害児・者の地域生活支援	13.0		13.8		11.9	
ひとり親家庭への相談・支援	16.8	5	10.8		11.4	
精神障害者の地域生活支援	6.2		7.9		10.5	
児童虐待防止に関わる取り組み	6.8		6.9		9.7	
青少年非行等の防止に関わる取り組み	6.8		5.6		6.6	
ホームレスなどの自立支援	0.3		0.3		0.5	
その他	0.9		1.0		1.0	
無回答	0.0		0.7		0.2	
回答者数	339		305		411	

③今後、自身が力を入れたい活動（対象：主任）〔複数回答・3つまで〕

今後、自身が主任児童委員活動として力を入れたいことは、「市区町村行政、児童相談所、福祉事務所（家庭児童相談室）、学校などとの連携・協働活動」が約7割と最も多く、次いで「サロン、子どもの居場所づくりなど、地域の子どもの子育て家庭を支援する活動の推進」が約半数の回答となっている。

「虐待、不登校など課題を抱える家庭への個別支援の強化」と「区域担当児童委員とのコミュニケーション強化」も3割強があげている。（図表 2-1-33）

図表 2-1-33 今後、自身が力を入れたい活動 《主任》

	主任	
	構成比	順位
市区町村行政、児童相談所、福祉事務所（家庭児童相談室）、学校などとの連携・協働活動	67.1	1
サロン、子どもの居場所づくりなど、地域の子どもの子育て家庭を支援する活動の推進	48.3	2
地域全体で子育て家庭を支援するための啓発活動	37.7	3
虐待、不登校などの課題を抱える家庭への個別支援の強化	33.8	4
区域担当の児童委員とのコミュニケーション強化	32.7	5
子どもを犯罪被害から守る地域活動の推進	24.1	
児童福祉に関わるサービスや施策の充実を目指した行政に対する意見具申	8.3	
災害時の支援に関わる活動の推進、連絡調整	6.4	
その他	1.8	
特にない、思い浮かばない	0.9	
無回答	0.6	
回答者数	544	

2) 自身の活動を充実させるために必要なこと

① 自身の活動を充実させるために必要なこと〔複数回答・3つまで〕

今後、自身の活動を充実させるために必要なことでは、新任・中堅・会長共通して「活動に必要な自分自身の資質向上」と「地域の自治会・町内会との連携強化」が上位にあがっている。

次いで、新任・中堅では「自分の仕事や生活との両立」が、会長では「単位民児協内での委員同士の協力体制づくり」があげられている。

主任でも「活動に必要な自分自身の資質向上」が最も多く、次いで「自分の仕事や生活と活動との両立」、「活動の範囲や役割の明確化」となっている。

「活動の範囲や役割の明確化」は新任でも1/4があげ、中堅の1/4は「地域住民の理解や協力」をあげている。(図表 2-1-34)

図表 2-1-34 自身の活動を充実させるために必要なこと

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
地域の自治会・町内会との連携強化	50.6	2	52.5	2	52.6	1	16.0	
民生委員・児童委員（主任児童委員）活動に必要な自分自身の資質向上	62.5	1	56.0	1	51.0	2	56.6	1
単位民児協内での委員同士の（区域担当児童委員との）協力体制づくり	13.6		20.1	5	29.2	3	26.1	4
委員個人または民児協としての主体的な活動強化	10.5		11.6		21.7	4	10.7	
活動に対する地域住民の理解や協力	21.5	5	24.9	4	17.3	5	18.4	
小地域での専門家・機関とのネットワークづくりや連携による課題解決への道筋づくり	11.7		13.2		16.8		23.3	5
活動の範囲や役割の明確化	25.7	4	17.9		16.2		27.0	3
行政や社協による、情報共有や研修機会の充実などのバックアップ機能強化	13.3		16.2		15.7		13.1	
市町村の福祉協力員（福祉推進委員）などの役割の明確化と連携強化	12.9		12.2		14.7		4.8	
自分の仕事や生活と民生委員・児童委員（主任児童委員）との両立	29.1	3	26.8	3	12.7		31.4	2
情報共有の方法や役割分担など、関係機関とのルールづくり	7.0		5.3		11.1		13.2	
行政や社協による依頼事項の負担軽減	5.2		8.3		7.6		2.9	
地域の団体（ボランティア団体・NPO団体など）との連携強化	5.0		5.5		6.8		4.6	
活動量（時間や件数）の軽減	3.9		5.1		6.7		3.7	
活動に伴う経済的負担の軽減	3.1		2.6		4.4		2.6	
家族や職場の理解や協力	5.1		4.5		2.7		6.4	
その他	0.3		0.8		0.5		2.0	
無回答	0.5		0.4		1.3		1.1	
回答者数	573		507		631		544	

② 自身の活動を充実させるために必要な研修〔複数回答・3つまで〕

《新任・中堅・会長》

自身の活動を充実させるための研修内容では、新任・中堅・会長に共通して、特に、「部会や定例会での事例検討」と「事例検討を通しての関係機関との連携や役割分担の確認」が多く、事例を用いた具体的・実践的な研修を求めている傾向がうかがえる。また、「情報共有方法について、関係機関と一緒に学ぶ」も、中堅・会長の半数があげている。(図表 2-1-35)

図表 2-1-35 自身の活動を充実させるために必要な研修 《新任・中堅・会長》

	新任		中堅		会長	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
部会や定例会で、事例を題材に課題を見極め、支援方法や対応を検討する(事例検討)	62.5	1	59.4	1	66.2	1
行政や地域包括支援センターなどの関係機関とともに、実際の事例検討を通して、連携や役割分担を確認する	51.7	2	56.2	2	56.9	2
災害時などの情報共有方法について、関係機関と一緒に学ぶ	38.0	3	48.5	3	55.0	3
法律や社会福祉制度などについて、最新の知識や情報を得る	25.7	4	26.4	4	31.4	4
認知症や高齢者の心理についての知識、基本的な介護技術を身に付ける	16.2		20.7	5	16.0	5
福祉票(児童票)や活動記録の付け方、情報管理の方法について知識や技術を身に付ける	20.1	5	10.8		14.4	
地域や近隣の社会資源に関する情報を得るために、実際に見学する	16.1		16.4		13.2	
面接技法など、相談援助に必要な技術を身に付ける	15.0		11.0		11.3	
グループ活動を活性化するための集団討議技法を身に付ける	3.0		3.2		4.6	
サロンや配食サービスなどの開設・運営方法について学んだり、体験する	4.7		5.1		2.7	
レクリエーション技術など、子ども・青少年との交流手法を身に付ける	4.0		4.3		2.9	
その他	0.5		1.0		0.5	
無回答	3.8		2.0		2.2	
回答者数	573		507		631	

《主任》

主任の場合も、自身の活動を充実させるための研修内容の上位2項目は新任・中堅・会長と同様であるが、主任ではとくに、「事例検討を通しての、行政や学校など関係機関との連携や役割分担の確認」が7割強と多い。

「子育てサロンなどの実施方法」、「相談援助に必要な技術」が続いている。(図表2-1-36)

図表 2-1-36 自身の活動を充実させるために必要な研修 《主任》

	主任	
	構成比	順位
行政や学校、保育所・幼稚園などの関係機関とともに、実際の事例検討を通して、連携や役割分担を確認する	73.9	1
部会や定例会で、事例を題材に課題を見極め、支援方法や対応を検討する(事例検討)	52.0	2
子育てサロンやゼロ歳児訪問活動などの実施方法について学んだり、体験する	30.1	3
面接技法など、相談援助に必要な技術を身に付ける	22.4	4
法律や社会福祉制度などについて、最新の知識や情報を得る	18.9	5
地域や近隣の社会資源に関する情報を得るために、実際に見学する	15.6	
災害時などの情報共有方法について、関係機関と一緒に学ぶ	14.2	
レクリエーション技術など、子ども・青少年との交流手法を身に付ける	14.0	
福祉票(児童票)や活動記録の付け方、情報管理の方法について知識や技術を身に付ける	5.0	
グループ活動を活性化するための集団討議技法を身に付ける	2.9	
その他	1.5	
無回答	0.4	
回答者数	544	

3) 今後の単位民児協の活動について

① 今後、単位民児協として力を入れるべきこと（活動面）〔複数回答・3つまで〕

今後、単位民児協として活動面で力を入れるべきこととしては、新任・中堅・会長の意向がほぼ一致しているようすがうかがえる。とくに、「地域の安全・安心に関わる活動」と「住民組織・市民活動等との連携による地域福祉活動の推進」の割合が高い。

主任では、「住民組織・市民活動等との連携による地域福祉活動の推進」が最も多く、次いで「子育てサロンなど、地域の自主活動の開発・実践」、「地域住民の理解を得るためのPR活動」が上位にあがっている。（図表 2-1-37）

図表 2-1-37 今後、単位民児協として力を入れるべきこと（活動面）

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
災害時要援護者支援や防犯活動など、地域の安全・安心に関わる活動	44.3	2	58.4	1	58.2	1	28.5	4
地域見守りネットワークなど、他の住民組織・市民活動等との連携による地域福祉活動の推進	47.5	1	44.4	2	57.1	2	50.4	1
地域の多様な支援ニーズについての発見力を強化する活動	34.7	3	30.2	3	33.8	3	27.2	5
福祉サービスを必要とする人に対する個別の相談支援活動の強化	26.7	4	27.0	4	30.1	4	18.4	
活動に対する地域住民の理解や協力を得るためのPR活動	24.1	5	24.9		23.6	5	29.6	3
多様な世代の人材を地域福祉の担い手として巻き込む活動	19.2		20.9		22.2		24.6	
子育てサロンやふれあいサロンなど、地域の自主活動の開発・実践	18.3		25.4	5	20.3		35.3	2
住民の支え合い意識の醸成、差別や排除をなくすための住民への啓発活動	16.9		12.8		12.5		11.9	
関係行政機関の行う事務や業務への協力者としての活動	10.3		8.5		8.7		5.0	
市町村行政などへの意見具申力の強化	6.5		8.7		8.7		7.2	
障害児・者や世代間の地域交流活動の促進	5.2		5.1		5.5		10.1	
ボランティアグループやNPO団体、当事者団体への支援	2.1		2.8		1.4		2.6	
その他	1.0		0.4		0.5		0.4	
無回答	3.0		1.4		1.4		2.0	
回答者数	573		507		631		544	

② 今後、単位民児協として力を入れるべきこと（組織運営面）

〔複数回答・3つまで〕

今後、単位民児協の組織運営面で力を入れるべきこととしては、新任・中堅・会長と主任のいずれの意向もほぼ一致し、「単位民児協内での委員同士の協力体制の強化」が第1位にあげられている。

次いで「委員の経験やニーズに応じた研修や研鑽機会の充実」、「関係機関や福祉協力員などとの役割分担の明確化と連携の推進」が3割～4割で続いている。

この他、会長では、「重点活動や事業計画策定」、「部会・委員会活動の強化」の回答率がやや高く、「2割弱だが民生委員推薦会への協力」もあげられている。（図表2-1-37）

図表 2-1-37 今後、単位民児協として力を入れるべきこと（組織運営面）

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
単位民児協内での委員同士の協力体制の強化	45.7	1	48.7	1	57.7	1	49.4	1
委員の経験やニーズに応じた研修や研鑽機会の充実	41.0	2	36.9	3	37.6	2	33.6	2
地域の福祉課題への対応力強化に向けた、関係機関や福祉協力員（福祉推進委員）などとの役割分担の明確化と連携の推進	38.0	3	38.7	2	34.5	3	32.9	3
単位民児協としての重点活動や事業計画策定など、活動の優先順位づけの検討	23.7		26.2		32.6	4	17.5	
活動に対する地域住民の理解や協力を得るためのPR活動	29.8	4	26.8	4	28.1	5	32.9	3
単位民児協の部会や委員会活動の強化	14.0		19.7		26.9		18.0	
情報共有の方法など、連携に際しての関係機関とのルールづくり	25.7	5	26.4	5	22.5		32.7	5
新たな委員の人選や推薦など、民生委員推薦会への協力	5.8		15.6		17.6		9.2	
活動強化に向けた財源確保	8.7		9.5		10.6		5.9	
事務局機能の強化	2.6		3.0		4.0		3.7	
ボランティアグループやNPO団体への支援	3.7		3.6		2.1		2.4	
その他	1.4		0.6		0.3		0.6	
無回答	4.0		2.6		2.1		2.6	
回答者数	573		507		631		544	

③ 今後、定例会で力を入れたらよいと思うこと〔複数回答・3つまで〕

今後、定例会で力を入れたらよいと思うことは、いずれも「活動上の悩みや事例について相談・協議する場にしていく」が最も多く、上位4項目についてはほぼ共通している。

新任では、「先輩委員の助言や体験談が聞けるような場にしていく」ことへの期待が高く、第2位にあがっている。他方、「全員が参加・発言しやすい雰囲気づくり」は新任→中堅→会長の順に多くなっている。

主任では、「児童福祉や主任児童委員に関する議題を増やす」も1/4があげている。
(図表 2-1-39)

図表 2-1-39 今後、定例会で力を入れる必要のあると思うこと

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
活動上の悩みや事例について相談・協議する場にしていく	57.0	1	68.9	1	75.6	1	53.1	1
全員が参加・発言しやすい雰囲気づくり	30.2	5	45.2	2	69.3	2	36.9	2
伝達事項だけでなく、独自の協議題も加える	35.1	4	33.1	4	48.2	3	32.7	4
外部の実践者や相談機関の職員を招き、情報・意見交換を行う	42.8	3	41.2	3	43.1	4	36.4	3
一部の委員に運営の負担が集中しないような運営の仕組みづくり	11.9		15.8		14.6	5	12.1	
児童福祉や主任児童委員に関する議題を増やす	6.5		8.5		13.0		23.9	
先輩委員の助言や体験談が聞けるような場にしていく	43.6	2	26.6	5	11.9		25.4	5
その他	1.7		2.6		0.6		1.8	
特にない	5.8		3.4		0.6		5.9	
無回答	2.4		2.4		1.1		0.6	
回答者数	573		507		631		544	

4) 単位民児協会長や主任児童委員に期待すること

① 会長への期待〔複数回答・5つまで〕

民生委員・児童委員（主任児童委員）活動の充実に向けて単位民児協会長に期待する（期待される）役割としては、中堅と会長との間では、「委員全員が参加しやすいような単位民児協の運営上の工夫」をはじめ、かなり傾向が似ていた。違いがみられた点では、中堅は「経験者と未経験者との情報交流を促進し、経験の共有と継承を図る」の割合が高く、会長は「委員の自発的な活動を引き出すよう支援する」や「主任児童委員の役割を理解するための取り組みを推進する」の割合も高めであった。

他方、新任と主任では、「経験者と未経験者との情報交流を促進し、経験の共有と継承を図る」が最も多く、とくに主任では「主任児童委員の役割を理解するための取り組みを推進する」が上位にあげられている（図表 2-1-40）

図表 2-1-40 単位民児協会長に期待する役割

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
委員全員が参加しやすいような単位民児協の運営上の工夫をする	39.6	2	52.9	1	74.2	1	41.9	2
委員が抱えている活動上の悩みに対して、的確に助言をする	37.2	3	42.0	3	56.7	2	35.5	4
委員の自発的な活動を引き出すよう支援する	26.7		35.5		55.9	3	31.1	
経験者と未経験者との情報交流を促進し、経験の共有と継承を図る	64.0	1	52.3	2	48.5	4	46.7	1
民児協活動のさまざまな場面において、多様な研鑽の機会を設定する	31.8	5	38.5	4	44.5	5	32.9	
他の民児協との交流を深めるなど、広い視野を養えるような工夫をする	30.0		36.5	5	39.9		32.0	
他の民児協の先進的な事例を積極的に学び、地元での取り組みを検討する	34.0	4	30.8		28.7		33.1	5
民児協活動の方向について、強いリーダーシップを発揮する	21.5		25.2		24.2		18.8	
委員が地域の共通課題や福祉ニーズを発揮できるよう、情報収集力を高める	20.4		22.3		21.9		23.3	
行政や社協、地域団体からの依頼に対し、優先度や役割分担などを調整する	22.0		26.0		21.1		17.3	
主任児童委員の役割を理解するための取り組みを促進する	7.3		7.7		19.8		37.7	3
その他	1.0		1.6		0.3		0.9	
無回答	5.9		4.7		1.6		2.8	
回答者数	573		507		631		544	

② 主任児童委員への期待〔複数回答・3つまで〕

主任児童委員に対して期待する役割や活動は、新任・中堅・会長ともに「関係機関と区域担当児童委員、民児協との連絡調整」、「行政、学校などとの連携・協働活動」、「子育てサロンなど、子どもや子育て家庭を支援する活動」、「課題を抱える親子への個別支援」が4割～5割と上位になっている。

これらは、主任児童委員は自身に求められていると思う役割や活動とほぼ一致しているが、主任ではとくに「行政、学校などとの連携・協働活動」をあげている割合が高い。(図表 2-1-40)

図表 2-1-40 主任児童委員に期待する(求められる)役割・活動

	新任		中堅		会長		主任	
	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位	構成比	順位
児童福祉・教育などの関係機関と区域担当児童委員、民児協との連絡調整	37.3	2	41.4	2	58.8	1	46.7	3
行政、児童相談所、家庭児童相談室、学校などとの連携・協働活動	36.5	3	41.8	1	53.7	2	64.3	1
子育てサロンや子どもの居場所づくりなど、地域の子どもや子育てを支援する活動の推進	29.5	4	41.0	3	45.3	3	48.5	2
児童虐待、育児不安、不登校、非行などの課題を抱える親子への個別支援	38.2	1	36.9	4	43.3	4	43.8	4
区域担当児童委員が課題を抱える親子への個別支援を行う際のサポート	21.6		25.6		28.7	5	31.1	5
子どもを犯罪被害から守る地域活動の推進、連絡調整	27.9	5	31.2	5	22.7		19.1	
子育て家庭やひとり親家庭などへの災害時の支援に関する活動の推進、連絡調整	14.8		14.8		14.7		12.1	
その他	1.6		1.4		1.3		0.7	
特になし、わからない	12.0		4.3		0.6		0.9	
無回答	4.5		3.6		2.1		0.7	
回答者数	573		507		631		544	